地域と医療で咲くコミュニケーション

あまが咲だより

2018
9月
No.52

兵庫県立尼崎総合医療センター
Amagasaki General Medical Center (AGMC)

[院内専門センターのご案内]

兵庫県難病相談センター「難病の方に自分らしく生きていただくために、ご家族や地域の支援者とともに支えます」

[医療チームのご紹介]

結節性硬化症診療連携チームのご紹介
「結節性硬化症のトータルマネジメントを目指して、多診療科連携の総合診療チームの設立」

● [AGMCニュース] 第4回AGMC地域医療懇話会を開催いたしました

●セミナーのご案内　●スタッフのつぶやき　●ぶらり～っと病院探訪

兵庫県難病相談センター

難病の方に自分らしく生きていただくために、ご家族や地域の支援者とともに支えます

院内専門センターのご案内
複数の診療科・部門を一つにまとめ、診療機能を統合させた当院の《センター》をご紹介します。

兵庫県難病相談センターの特徴

当センターは、平成2年に「兵庫県難病相談センター」として開設し、当院の患者さんだけでなく県下の難病の方のご相談をお受けしています。ご本人やご家族が住み慣れた地域で安心して療養生活が送れるよう、保健、医療、福祉等の関係機関と連携を図りながら活動します。病気によって引き起こされる問題は、すぐに解決することばかりではありませんが、ゆっくりとお話しをお聞きし、気持ちに寄り添いながら一緒に考える姿勢を大切にしています。

後列左から：二山千佳子医療ソーシャルワーカー、山元孝子看護師
前列左から：影山恭史センター長、西田 香次長

尼崎総合医療センター
神経内科科長
兵庫県難病相談センター長
影山 恭史

- 日本神経学会 代議員・専門医・指導医
- 日本脳卒中学会 専門医
- 日本リハビリテーション医学会 認定臨床医
- 日本内科学会 総合内科専門医
- 日本認知症学会 専門医
- 日本てんかん学会 評議員

● センター入り口

● 難病患者コミュニケーション支援研修

組織構成

神経内科医師1名、保健師1名
看護師1名、医療ソーシャルワーカー1名

業務内容

❶難病相談
医療相談（予約制）
療養生活相談（随時）：平日9時～16時30分
平成29年度実績　延べ4413件

❷情報提供
ホームページ等による普及啓発、ニューズレター発行、
難病教室の開催等

❸企画調整事業
難病患者地域ケア研修開催、情報交換会の開催、
保健所の難病保健指導事業への協力等

❹神経難病医療ネットワーク支援事業
協議会、連絡会の開催、研修会開催、退院調整等

❺ハローワークの難病患者就労サポーターによる出張相談への協力
第2、第4水曜日13時30分～16時（予約制）

❻患者団体等との連携及び支援

● 神経難病医療ネットワーク研修会

● 展示室

患者さんや地域医療機関へのメッセージ

難病医療費の助成が受けられるのは指定難病（331疾患）で重症度分類を満たす方です。
その他、軽症者特例の制度もありますので、対象かどうかは、まず主治医にご相談ください。

医療チームのご紹介

ーみんなで支えるチーム医療ー

安心・安全な医療の提供を目指し、院内で多職種協働にて
活動する医療チームをご案内します。

結節性硬化症診療連携チームのご紹介

チーム責任者

加藤 竹雄
（小児科部長、小児神経内科部長
小児神経内科長）

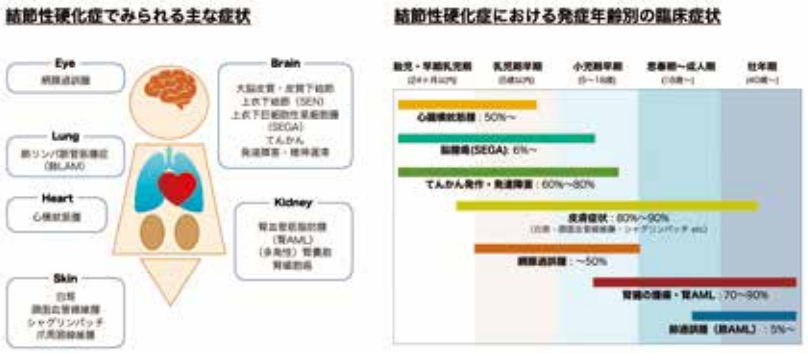
村蒔 基次
（泌尿器科部長）

結節性硬化症のトータルマネジメントを目指して、多診療科連携の総合診療チームの設立

▶結節性硬化症とは

皮膚、神経系、腎、肺、目、骨など全身の様々な部位（臓器）に過誤腫と呼ばれる良性の腫瘍などが生じる先天性の病気で、その様々な症状の出現は年齢によって異なります（図）。結節性硬化症診療連携チームでは、結節性硬化症の患者一人一人に応じたトータルマネジメントを行うため、複数の診療科と連携することで患者さんの診療への負担を軽減できるよう総合的な診療を提供しています。

図　結節性硬化症について



後列左から：
岡 香織（口腔衛生士）、甲田一馬（神経内科）
平井知之（呼吸器内科）、影山恭史（神経内科）
木村浩之（放射線診断科）
金柿光憲（放射線診断科）
北川雅史（脳神経外科）

前列左から：
糸井和美（呼吸器外科）、藤村和磨（歯科口腔外科）
加藤竹雄（小児科）、村蒔基次（泌尿器科）
工藤比等志（皮膚科）、山田裕二（泌尿器科）

●TSCコーディネート（外来）
後列左から：八代敦子（看護師）、
佐藤裕子（看護師）
前列左から：川内奈央子（秘書）、
加藤竹雄（小児科）

1 構成メンバー

■小児科	加藤竹雄、井手見名子、松本貴子
■泌尿器科	村蒔基次、山田裕二
■神経内科	甲田一馬、影山恭史
■呼吸器内科	平井知之
■精神科	見野耕一
■脳神経外科	北川雅史
■呼吸器外科	糸井和美
■皮膚科	工藤比等志
■歯科口腔外科	藤村和磨、岡香織（口腔衛生士）
■放射線診断科	金柿光憲、木村弘之

2 活動内容

これまでの結節性硬化症の治療は主に各臓器症状に対する対処療法が中心でしたが、近年、治療法の開発が進み、疾患病態への治療が行えるようになってきました。現在まで当チームでは約10数名程度の結節性硬化症の患者の診療を行っています。症例数はまだ少ないですが、mTOR阻害薬や新規抗てんかん薬などの先進医療を行っています。泌尿器科先生のご尽力に立ち上げた「結節性硬化症症例検討会」を平成28年より行っており、多種診療科の先生方と症例についてのディスカッションを行うことで総合的な診療を進めています。

3 メッセージ

結節性硬化症診療連携チームでは患者さん一人一人に応じ総合的な診療をご提供できるよう努力いたします。診療をご希望される方は当院の地域医療連携センターを通して「TSCコーディネート外来」の受診予約をお取りください。

AGMCニュース

第4回 AGMC地域医療懇話会を開催いたしました

▲懇話会風景

平成30年7月28日(土)当センター講堂において、第4回AGMC地域医療懇話会を開催いたしました。今年で4回目となるこの懇話会では、地域の医療関係者の皆さまへ、当院の実績や新たな取り組みをご紹介。

そして連携病院からは、池田病院院長　池田弘毅先生と、勝谷医院院長　勝谷友宏先生より、当院との地域連携の実際についてご発表頂きました。

<当センターで新たな取組み報告>

❶循環器内科
「構造的心疾患(SHD)に対する新たな低侵襲治療 僧帽弁逆流症に対するMitra Clipの導入」について

❷泌尿器科
「ロボット支援手術の適応拡大(前立腺・腎部分切除・膀胱全摘)」について

❸乳腺外科
「乳腺外科の現状と新たな取組み」について

❹耳鼻咽喉科・頭頸部外科
「頭頸部がんに対する低侵襲治療の取組み」について

❺形成外科
「口唇裂・口蓋裂センターの開設(「小児形成外科」標榜開始)」について

❻小児外科「小児外科的肝疾患」について

当日は台風が接近し開催が危ぶまれましたが、多数の関係者の皆さまにご参加を頂き、改めて深く感謝申し上げます。今後も円滑な地域医療連携が図れるよう取り組んで参ります。

ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

セミナーのご案内

第71回 市民すこやかセミナー

多くの方のご参加を！

テーマ 『いびきと無呼吸の関わり』

～あなたのいびきは、大丈夫？～

【講　師】県立尼崎総合医療センター　●耳鼻咽喉科・頭頸部外科 医師 森田 武志
●臨床検査部門 検査技師 中澤 佳代・矢野 曜子

【日　時】平成30年10月26日(金曜日)　午後2時～3時30分

【場　所】県立尼崎総合医療センター 講堂(1階)　**参加費:無料(予約不要)**

★お問い合わせ：県立尼崎総合医療センター　地域医療連携センター ☎ 06-6480-7000(代表)

スタッフのつぶやき

スタッフ一同、笑顔で対応を心がけています！

書類センター スタッフ一同

書類センターでは、1階の2番カウンター窓口で、患者さんより各種書類をお預かりして作成手続きを行っています。

まず、電子カルテ内に受付情報を登録し、その後、各担当医師に依頼書をつけて、医局まで持っていきます。一日の書類預かり件数は80～90件ほどで、書類の作成期日は、約2週間いただいていますが、出来上がり状況は様々です。特定疾患の更新などで込み合う時期は、依頼件数は普段より2倍近くの量になり、その1～2ヶ月間は、毎日が処理をするのに火の車です。お急ぎの書類もありますので、担当医師に無理をお願いすることもあります。書類作成済み後もの書類件数の入力などの処理作業のため、電子カルテ内登録に追われています。こんな毎日ですが、スタッフ一同、忙しくとも笑顔で対応を心がけていますので、宜しくお願いします！

ぶらり～っと病院探訪

自分と赤ちゃんに意識を向ける大切な時間

妊婦さんにとって心身ともにリラックスできる場

マタニティヨガ教室

慌ただしい病院内にも、癒しの音楽とゆったり時間が流れる空間がありました。今月号はマタニティヨガ教室のご紹介です。

当院では月2回、安定期を迎えて、主治医の許可をもらった妊婦さんが受けられるマタニティヨガの教室が行われています。軽く体をほぐしてから、出産に必要な股関節、骨盤の柔軟性をつけるポーズ、腰痛予防のポーズなどをします。レッスンの終わりには、腹式呼吸、（陣痛の際にも活用できます。）軽い瞑想を行います。忙しい日常の中で、マタニティヨガをしているときだけは、自分と赤ちゃんに意識を向ける時間にしていただけたら、とインストラクターの方はお話されています。臨月を迎えても体調がよければヨガを行っても大丈夫ということですが、妊婦さんの月齢や体調はひとりずつ違うので、おひとりずつ声をかけながらレッスンを行っていらっしゃいました。

実際にヨガのレッスンを受けた妊婦さんが出産後に、「無事に生まれました！」「出産の時に、呼吸法が役に立ちました。」などご報告にきてくれるそうです。嬉しいですね♪

出産は女性にとって貴重な経験です。赤ちゃんがお腹の中にいるのは約10か月ですが、体調や気分が不安定になる時期もあるでしょう。そんな中マタニティヨガ教室は、雑念を捨てて上手に自分と向き合うことで、妊婦さんにとって心身ともにリラックスできる有意義な時間となっていることでしょう。

編集後記

編集をしている現在、高校野球の第100回大会が開催されています。甲子園の所在地が当院の隣町ということもあって、現地まで観戦に行かれた方も多いのではないでしょうか？今年は全国的に記録的な猛暑となり、甲子園でもミストを撒くなどの熱中症対策がなされていました。消防庁によると、4月～8月の熱中症による救急搬送数は去年の約2倍に迫る勢いだったようです。

先日立秋を迎え、ようやく少しずつ暑さもやわらいできたように感じます。広報誌がみなさまのお手元に届くころには、涼しい秋模様となっているでしょうか。

（R.M.）

兵庫県立尼崎総合医療センター
Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号　TEL 06-6480-7000（病院代表）　FAX 06-6480-7001
URL：http://agmc.hyogo.jp/
兵庫県立尼崎総合医療センター　検索

発行　兵庫県立尼崎総合医療センター　企画協力・デザイン・印刷　兵田印刷工芸株式会社